

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員募集中	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2022」Instagram で募集中です ※5/9 (月) まで

前号でお知らせしたとおり、今年も「桜のある水辺風景」の作品を Instagram で募集中です。応募方法は次の 3 ステップです。(詳細は次頁チラシをご確認ください。)

【応募方法】

Step 1 : JRRN 公式アカウントをフォロー

Instagram で「jrrn01」で検索して JRRN のアカウントをフォローしてください。

下記 QR コードからアクセスできます。

JRRN 公式アカウントをフォロー



Step 3 : 「#桜のある水辺風景 2022」へ投稿

タイトル、撮影時期、想いなどのコメントを自由にご記入いただき、企画名のハッシュタグをつけて投稿してください。

それ以外のハッシュタグも自由に設定 OK !

ハッシュタグ「#桜のある水辺風景 2022」をつけて投稿



Step 2 : 水辺の桜風景を撮影

感染症対策に十分気を付けて、あなたが見つけた、素敵な水辺の桜風景を撮影してください。

スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影



事務局において最優秀賞 1 点、優秀賞複数点を選定し、JRRN ホームページで公表するとともに、各種刊行物・ウェブサイト等の広報媒体によりおよそ 900 の JRRN 会員をはじめ、リバーフロント研究所など関係機関の協力も得て、全国に積極的に広報します。なお、金品の副賞はございませんので、予めご承知おきください。

昨年の最優秀賞、優勝賞の情報はコチラから

http://jp.a-rr.net/jp/activity/newsletter/files/2021/06/Newsletter_vol168_202106.pdf

(JRRN 事務局・後藤千佳子)

#桜のある水辺風景2022

○応募資格

以下の応募方法に従い下記の条件を満たす方どなたでもご応募いただけます。

- ① 下記の作品規定に同意して頂いた方
- ② Instagramのアカウントを保有し、公開設定にして頂いた方
Instagramアカウントをお持ちでない方は、
Instagramアカウントを作成してご応募してください。

○作品規定

ご本人が撮影したデジタル写真のみ。
個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

○応募方法

以下の手順に従って、ご応募頂けます。

- ① Instagramで「jrrn01」をフォロー
- ② スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影
- ③ ハッシュタグ「#桜のある水辺風景2022」
をつけてInstagramに投稿

○応募期間

2022年3月28日（月）～2022年5月9日（月）

○問合せ

〒104-0033
東京都中央区新川1丁目17番24号
（公財）リバーフロント研究所内
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
事務局 担当：阿部・後藤
（Eメール: info@a-rr.net）

応募作品はJRRNの刊行物やウェブサイト等で
使用させて頂くことがあります。

※応募に関する詳細情報はこちらから
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1281.html>

主催：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
応募先・問合せ先：info@a-rr.net



JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクト – 昨年 11 月に連続開催した全 3 回の現地研修会開催報告書公開 & 今年度の「小さな自然再生」現地研修会開催予告

本ニューズレター2021年12月号にて、昨年11月に連続開催しました第12回～第14回「小さな自然再生」現地研修会の開催概要を紹介させて頂きましたが、この度、全3回の開催報告書が完成し公開致しました。

この3冊の開催報告書は、現地研修会の参加者とともに学び、楽しんだ内容の一部を、当日の写真や座学講義での配布資料を中心に皆様にご紹介するものです。

各現地研修会は、「小さな自然再生」研究会に加え、次の関係団体の方々との協働・後援により開催することができました。関係された皆様には厚く御礼申し上げます。

回	連携	団体名
12	共催	青少年育成鍋横地区委員会
	後援	中野区
13	共催	淡海を守る釣り人の会
	後援	滋賀県、守山市、 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
14	共催	釧路自然保護協会
	後援	釧路市、釧路湿原自然再生協議会 河川環境再生小委員会



※『第12回小さな自然再生現地研修会 in 東京都・善福寺川』開催報告書のダウンロードはこちらから
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/308>



※『第13回小さな自然再生現地研修会 in 滋賀県野洲川流域大川』開催報告書のダウンロードはこちらから
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/315>

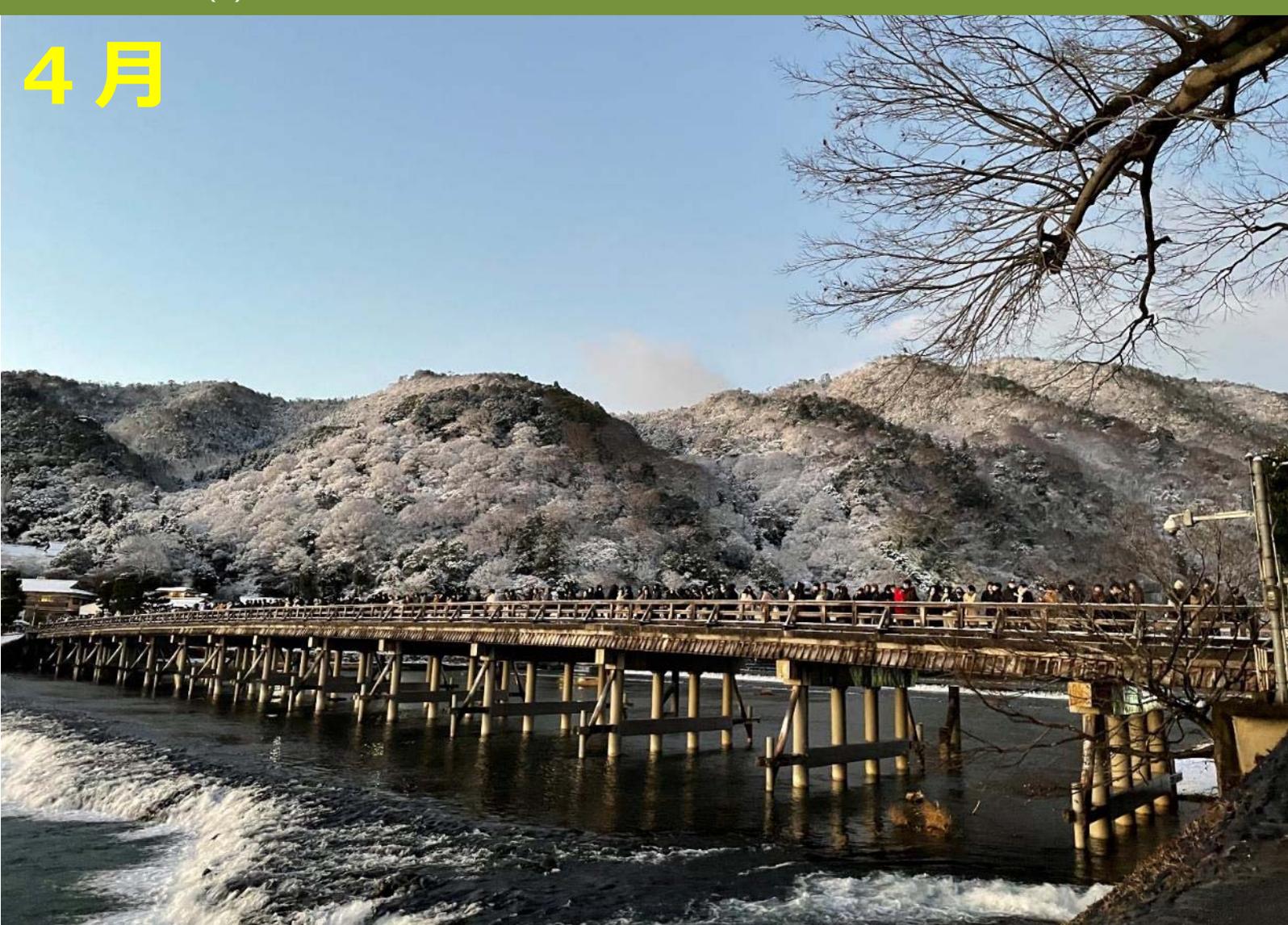


※『第14回小さな自然再生現地研修会 in 北海道・釧路川流域釧路川』開催報告書のダウンロードはこちらから
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/320>

なお、2022年度（令和4年度）も、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を頂き、全3回の「小さな自然再生」現地研修会を全国で開催させて頂きます。開催場所の公募等につきましては、改めて皆様にご案内申し上げます。

(JRRN 事務局・和田彰)

4月



あの日のあの川 リレー日記 ～第61話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第61話主人公 安藤ひなた

(筑波大学 社会国際学群 国際総合学類 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(■川ガール・□川系男子)

(出身地を流れる川：京都府大堰川(桂川))

「災害と人」

いつのこと？： 中学二年生、大学二年生

どこの川？： 京都府京都市、宮城県名取市

こんにちは。三森さんよりバトンを受け取りました、筑波大学白川研究室の安藤ひなたです。私の地元である京都市には左京区に鴨川、右京区に大堰川(私たち地元住民は桂川と呼んでいます)が流れています。私はカップルが等間隔で並んだり小説の舞台にもなっている鴨川でなく、BBQができたり野犬が走り回っている(危ない!)大堰川の近くで育ちました。

今回はこの大堰川が氾濫した際のお話と、大学に入ってから東北の被災地を訪れた際のお話を書かせていただきます。

上では BBQ だの野犬だのと書きましたが大堰川は保津川下りが体験できたり、渡月橋が掛かる嵐山や松尾大社といった観光地を經由している川です。昔はこの川を通して多くの木材やものが都に送られてきました。まさに私の地元だけでなく京の都を支えていた川になります。

こんな大堰川は川幅が広く、のんびりとした風景が魅力の川でした。しかし私が中学2年生の10月、台風18号の影響により渡月橋の辺りで大堰川は氾濫してしまいました。テレビで報道された映像に大きな衝撃を受けたことを今でも覚えています。また、嵐山の商店街や川辺にお店を構えていた同級生の店舗や家が浸水し、翌日学校で話題になりました。周りに海がなく、水への恐怖心があまりなかった私にとって、身近な川が実は災害をもたらすものであったと初めて実感する出来事になりました。私が通っていた中学校は毎年大堰川清掃といって夏に川の清掃を行っていたのですが、翌年の清掃はこの氾濫によって川底まで全て一掃されたため、清掃する場所がないと判断され中止になりました。

大堰川はこの氾濫後、川底を深くする工事が行われました。2018年7月に再度京都市は記録的な大雨に見舞われ、大堰川も河川敷の高さまで増水しましたが氾濫することはありませんでした。災害が起こった後、しっかりと次に備えていたからこそ防げた事例になりました。「死者がいなかったから、浸水被害で済んだから、良かったね」で済ませなかったからこそ守れたものが沢山あった2018年7月だったなと今振り返っても痛感しています。

大学生になった私は東日本大震災の被災地を訪れようと、宮城県名取市の閑上地区を訪れました。閑上地区は太平洋に面した地区であり、また名取川が太平洋に流れ込む地区です。名取市震災復興伝承館では川を逆流して津波が市街地を飲み込んでいく映像を見ることができました。川が津波の通り道になる、川が氾濫以外で人々に被害をもたらす様子に言葉を失うとともに、このような被害にあったにもかかわらず震災後に再度人が閑上地区に戻ってきている様子に衝撃を受けたことを今でも鮮明に覚えています。災害に遭ってもなお、川や海、水と共生していく人々の姿を見たことは、「災害の少ない土地に住めばいい」と安直に考えていた私の価値観を一変させるものでした。そんな私が受けた衝撃とは対照的に、閑上の海や名取川はとても穏やかでした。「きっと私にとっての大堰川と同様に、閑上の人々にとって名取川や海は大切な故郷の風景なんだ」と、稚拙な感想を持つたりもしました。

短くて急な川が多く、地震や津波の危険性が高い日本でこれからも水が関わる風景を大切にしながら、一方で川は災害を起こす自然の一つであることを心に留めながら生活していきたいなと思います。地元を振り返った時に自然と調和した風景を思い出せることに幸せを感じながら生きていきたいです。思っていたよりも稚拙な文章かつ最後はなんだかまとまらなくなってしまいましたが、こんなところで締めさせていただきます。

ちなみに冒頭の写真は今年の初日の出を渡月橋のふもとから見た時の写真です。日の出のタイミングで吹雪にあったため、雪化粧をしています。大学卒業後はまた別の場所で生活することになるかもしれませんが、初日の出はこれからもここで見たいなと思っています。

最後までお読みいただきありがとうございました。

(次は井櫻吉乃さんにバトンを託します)

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

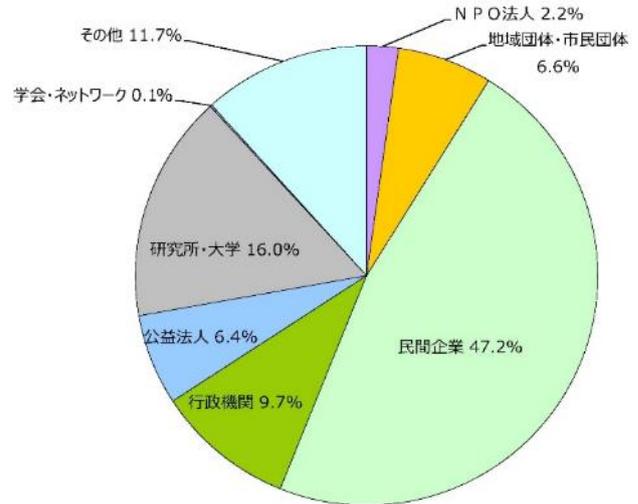
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2022年3月31日時点の個人会員の所属構成
 (個人会員数：826名、団体会員数：63団体)
 ※3月の新規入会数：個人会員0、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内
 Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
 URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>